

平田典子先生の「ナイスステップな研究者」をお祝いして

松井泰子（東海大学理学部）

平田典子先生が、平成 20 年度文部科学省科学技術政策研究所『ナイスステップな研究者（人材育成・男女共同参画部門）』に選ばれましたこと、心からお慶びとお祝いを申し上げます。『ナイスステップな研究者』は、研究に邁進される傍ら、後進の育成に力を注ぐ研究者を称える事を目的に設立された賞です。平田先生が、男女共同参画社会推進委員会の初代委員長として女性研究者の地位向上にいまなおご尽力されている事や、研究業績については、みなさま良くご存知の事と思います。そこで、ここでは女性研究者の先輩である平田先生の、私が知り得るソフトな一面をご紹介しますと思います。

私が平田先生に初めてお会いしたのは、「女子中高生の夏の学校」（以下、夏の学校）でした。夏の学校は、全国から集まった 100 余名の理系をめざす女生徒が実験・実習を体験する機会です。今年度で 5 回目となります。2 泊 3 日の合宿形式で行われ、40 以上の学会等から派遣された研究者、女子大学生がスタッフとなって夏の学校を運営するのです。夏の学校には魅力的なイベントが多数盛り込まれており、どの生徒も目を輝かせて帰って行く素晴らしい催しです。日本数学会からは毎年数名がスタッフとして参加し、講義やパネル展示を行っています。

一昨年、私が初めて夏の学校にスタッフとして参加した時、平田先生は企画委員の一人としてご活躍されていました。当時の私は、平田先生のお名前のみで、お顔は存じ上げませんでしたが、不思議なもので、数十人も理系の女性研究者が集まっている夏の学校で、「この方が平田先生では」という予感が見事に的中したのです。先生からは数学者特有のオーラが出ていました。当初はちょっと近寄りがたい感じが正直な所ありましたが、夏の学校でのある事件をきっかけに、その印象は払拭されたのでした。

平田先生はこの年の夏の学校で、昔の教え子に 20 数年ぶりに再会され、私はその場面に偶然出くわしました。相手方は、先生がお茶大時代に非常勤で教えられた筑波大附属の元生徒で、今は異なる分野で活躍され、スタッフとして夏の学校に参加されていました。控え室にて、教え子さんが一人で黙々と事務作業をされていた所、平田先生がそっと寄られ声を掛けられました。「えっ、先生！」と驚くかつての教え子に、「あなたは相変わらずおっちょこちょいね。数学は良く出来たわ。何かお手伝いしましょうか。」と温かい言葉を掛けられ、周囲もびっくりしてこの再会劇を見守ったのでした。この時を契機に、私の中の平田先生の印象は、優しい不思議な魅力に包まれたものになったのです。

昨年、夏の学校に再度スタッフとして参加した私は、学会の展示パネルの作成を担当しま

した。その際、生徒に数学科出身女性のロールモデルを見せるために、社会で活躍される先輩方の経歴と現在のご様子、メッセージを展示することを思い付きました。そこで真っ先に平田先生をご紹介させて頂こうと、ご経歴を調べて仰天しました。修士までお茶の水女子大学で修められ、パリ大学にて Ph. D, その後、東北大学で理学博士を取得されたという華麗な経歴の持ち主だったのです。このご経歴から、先生が突出した才能をお持ちである事は容易に推測できました。さらに、経歴と共に寄せられた生徒へのメッセージが素晴らしく、先生の真っ直ぐで純粋なお人柄がにじみ出ていましたのでご紹介します。

数学は体力も場所も問わず静かに学べる学問だ。

1人で全部出来るから権力にすり寄る必要もない。

良い結果はちゃんと国際的な客観評価を吸い付けるすがすがしい公平さに満ちている。長い間考えていた問題が、すうっと解ける珠玉の瞬間。それは他の何事にも比べられない喜びである。

数学はあらゆる科学の根幹を記述し続ける。

S. Lang と言う人の 1950 年代の予想を解決し、まもなく論文が出ます。

コアになるアイデアは、ソーメンをゆでている瞬間に思いつきました。

20 年間考え続けていたら、おてんとさまが照らしてくれました。

昨年一年間、平田先生は男女共同参画の初代委員長として、頼り無い私をバックアップして下さいました。委員会が抱える難問に一人では対応できず、八方塞がりとなった時、叱責されるのを覚悟で平田先生にご意見伺いのメールを差上げた所、「私は何があっても先生の味方です。」という、想像だにできなかった力強いお返事を頂きました。出身大学や専門分野も異なる、知り合って間もない人間を全力で支えて下さる先生の懐の深さを知り、この恵まれたご縁に感謝すると共に、もっと早くに先生に知り合っていたら、私の人生は違う方向に向かったと思いました。その後、先生のご提案を生かして難問は無事解決し、私の委員長としての任期も終わろうとしています。ありがとうございました。

今後も我々女性研究者の先輩として、バイタリティ溢れる姿勢を見せて下さい。

先生の快挙に万歳！！